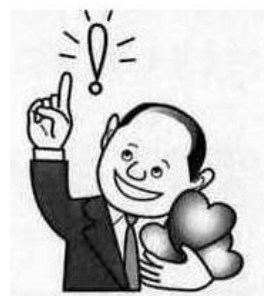




富士見市議会議員 関野かねたろうの 活動報告



平成 19 年春号 No.27

ごあいさつ

副議長を拝命いたしました

3月議会において、多くの同僚議員の指名により副議長を拝命いたしました。これもひとえにご支援をいただいている皆様のお陰と心より感謝申し上げます次第です。

皆様の夢や願いを実現するべく、前向きで建設的な議論の場として議会が機能するよう勤めてまいりますので、引き続きのご指導ご支援をお願い申し上げます。

3月議会報告

2月27日開会の平成19年度第1回定例会(3月議会)は、3月23日すべての審議を終え閉会いたしました。下記のとおり概要を報告いたします。

3月議会は予算議会といわれ一般会計を初めとする各予算審議が中心とされていますが、今議会は地方自治法の改正による副市長の設置、制度改正による関連条例の改正など38件にわたる多くの議案を審議いたしました。詳細は私や市のWebサイトをご覧ください。

～主な議案について～

・19年度予算(一般会計、特別会計、企業会計)が成立しました。

特に枠配分方式(部ごとに一律減額した予算配分をする)の3年目を迎えた19年度予算は、編成の限界やひずみが垣間見られ、一方で制度改正や財政調整基金の取り崩しなどにより予算編成を成立させたという厳しい予算事情があります。今後は市による説明責任の遂行と市民の皆さんの理解の下、事務事業の優先順位を見極めた予算編成が求められます。

私は一般会計予算の賛成討論を会派を代表して行いました。その際19年度予算を一言で言い表すとしたらどのような言葉がふさわしいかと尋ねました。そのことは市民の皆さんが予算について関心と理解への第一歩となると考えたからです。

～議員提出議案(可決分):費用弁償の廃止など～

・地方自治法改正に伴う委員会条例や会議規則の改正:議会運営委員会として提出
・費用弁償と日当の廃止および宿泊費の減額:宿泊費は委員会視察が廃止されたので、正副議長の視察等のみに対応されます。特に費用弁償については、今議会で多くの賛同者を募ることができ、与党代表者により提出可決することができました。時間はかかりましたが、政策のパフォーマンスとして提出するのではなく、多くの議員の賛同の下提出することができ、地道な政策提言が結実したといえます。

かねたろうの市政一般質問

今議会では、19年度の行政運営、教育問題、IT戦略などについて当局の考えを伺いました。以下質問と答弁の概要です。紙面の都合で表題を省略し内容のみにしました。詳細については私や富士見市のホームページをご覧ください。

また、3月議会前には会議録が完成し、情報公開コーナーでもご覧いただけます。

1. 19年度に向けた行政運営について

(1)住民サービスに支障の無い様に新しい組織機構への移行を

問：カウントダウンが始まった新組織移行は市民サービスに混乱ないように実施すべき。また窓口関係の部署はどのように1日で行っていくのか具体的に伺いたい。また併せて機能の充実という面からも伺いたい。

答：市民の皆様から見てわかりやすい組織ということが大きな課題として組織改正した。本庁舎のレイアウトも同じ視点から検討した。無用な混乱が起きないように事務室等の移動、コンピューターシステムや内線電話の調整を行っていく。

(政策推進室)

(2)18年度以降と答弁のあった行政評価システムの導入は

問：具体的な導入への取組状況について伺いたい。

答：今年度行政経営戦略会議での議論で、評価対象の拡大、評価結果の公開のあり方、第三者機関による評価の必要性などの検討がされている。これらの論点を踏まえ、新年度には一部の部署において、モデル的に行政評価システムの試行を行っていきたい。(政策推進室)

(3)自治体内での地域分権化を

問：実施計画をきめ細かに小学校区などで立案し、全体計画とリンクさせるなど地域の前向きな取り組みを評価誘導し、それに対し地域への予算配分をして地域のきめ細かな環境整備を

答：提案の地域還元策は自治基本条例に基づくまちづくりを進める本市にとっては、地域ごとの自発的な発想を促すということに関して有用な方策と感じているが、厳しい財政状況の中では新たな予算上の枠組みを設けることは非常に難しい。(政策推進室)

2. 19年度の学校教育充実に向けた教育行政について

(1)教育相談活動の充実を

問：新聞報道でも新年度の目玉の一つとしてふれあい相談員創設が掲載された。

さわやか相談員、ボランティア相談員体制が終わったが、学校における教育相談活動が新しい制度でどのように変わるのか

答：ふれあい相談員を各中学校に2名ずつ5時間程度で週5日、年間200日配置することとした。これにより本年度までの週35時間程度から50時間程度にな

り、また、2名体制で登校から下校までの配置が可能になる、相談室の不在時間を少なくするなど、相談活動の充実が計れると考える。相談員の資質に関しては教育相談研究室を中心とした研修などにより充実させていく。(学校教育課)

(2)学校経営に地域住民参加の実現を

問：たびたび申し上げているが学校現場も地域の参加を求めているのでは。また、今現在行われている地域住民の参加の具体例は

答：学校評議員制度を活用し、学校経営方針や1年間の取り組みなどに意見聴取や評価を受けている学校がある。学校評価についてはPTA役員ばかりでなく保護者や地域住民からも意見を聞いている学校もある。今後は文部科学省の「義務教育諸学校における学校評価ガイドラインに」基づき、外部評価委員会の立ち上げも視野にいれ、地域の声を学校運営に取り入れていきたい。(学校教育課)

3. 大きな転換を迎える電子計算機組織運営について

(1)システム移行へのスケジュールは

問：今年の年末にシステムの変更が行われるとの答弁を前回いただいた。予算でも具体的になった。移行までの具体的な段取りや、事前の準備が市民サービスに及ぼす影響をどのように想定しているのか

答：システム導入作業及びデータ移行作業の二つの作業を今年の11月頃には全てを完了させ、年末の大型コンピューターの撤去作業を実施していきたい。市民への影響は証明書などの様式が変わるが、広報等により事前に周知させ混乱無い様にしたい。システム見直し中も日常業務に支障の無いように庁内一丸で取り組む。(情報政策課)

(2)システム移行が富士見市のIT戦略に与える影響は

問：市民サービス、業務の効率化がどのように具体的に図られるのか

答：庁内LANの高速化や、市のHPを庁内サーバーで管理することでより正確で迅速な情報提供や情報交流の仕組みが整う。業務の効率面においては職員自らのデータ管理により相当な業務の効率化が図られる。(情報政策課)

(3)市の業務のすべてを包括した電子計算機組織運営を

問：報戦略の効率的な運用が図られると思われるが、出先機関の効率化を含めて今後どのように進化していくのか、

答：現在各部署が保有する情報システムを今後はできるだけ一元化や共有化が図られる。また、本庁及び出先機関を一つのネットワークで管理運営していくので、本庁と出先機関のわけ隔てない業務処理が実現できるようになると考える。業務の効率化と同時にセキュリティ対策の充実も求められるので、電子情報はコンピューター室のサーバーで管理する計画も持っている。(政策推進室)

以上市政一般質問の概要です。

市民の皆さんの声の実現しました！

- 前沼公園拡張工事が1年前倒しされ19年度中に完成します



時々ここで遊んでいる子供を見かけます。完成が待たれます

用地買収が完了し、後は整備を待つばかりです。

当初は19・20年度で整備する予定でしたが、3月議会で共産党を除く賛成多数で可決された19年度予算に整備費が一括計上され、工事が具体化します。当面は整地を先に進め、その後トイレや水周り等の施設を作る予定です。協働の公園作りとして整備を進める予定ですので、皆さんの意見や要望を下記までお寄せください。

12月議会以降の地域関連の主な出来事

- 三丁目の集会所の改築が予算化されました
前号でお伝えしましたように3丁目集会所の改築（増築）について町会長さんらと要望を重ねた結果、19年度予算に改築にかかわる費用が計上されました。町会内の世帯数の増加とともに、会合に手狭になったことなどから増築をすることになりました。今後は建物を調査し、特別の支障がない限り、工法などについて検討を進めていくこととなります。
- 水子地域の交通安全対策がすすむ
埼玉県緊急市町村道交通安全対策地域に水子地域が指定され、交通事故多発地点を中心に道路標示等の対策がされました。信号機も数箇所設置されましたが、危険な箇所もまだ多く存在していますので今後も市当局に働きかけてまいります。

お知らせ

- ・Web site(ホームページ)にも詳しく活動内容を掲載しています。ぜひご覧下さい！
URL は<http://www.k-sekino.com>です。(検索エンジンで「関野かねたろう」でも可能です)
- ・自宅(セキノ酒店)隣に「市民相談所」を開設しました。
ご要望やご意見、どんなことでもお気軽にご利用ください。
- ・富士見市議会議員としての役職や所属
副議長 会派:21・未来クラブ
常任委員会:総務常任委員会
一部事務組合:入間東部消防組合議会議員
- ★発行責任者:富士見市市議会議員 関野かねたろう
富士見市水谷東1-2-10 TEL049-255-0506 Fax049-255-0549